

院長ご挨拶—平成 25 年度スタートに際して

4 月 1 日から研修医 1 年目 12 名が本院で医師としての第一歩を踏み出します。専攻医も 15 名となりました。本年度は、彼らを含めて常勤医師 120 名の体制でスタートします。医師の地域偏在、診療科偏在という大きな課題の中で、若手医師からも選ばれる病院として新年度を迎えられることは、“ありがたい”こととしての重みにただただ感謝するのみです。

昨年度は病院創立 75 周年の節目の年に、次世代に継承しうる病院創りを念頭においた大津市民病院経営計画（平成 24～30 年度）をスタートすることができました。目指すべき病院の姿として『市民とともにある健康・医療拠点』を掲げ、7つの基本方針、22 の基本施策、89 の取り組み事項を掲げ、計 113 ページにわたる経営計画です（本院 HP に掲載）。初年度は視点①“スムーズな患者の受け入れ”と視点②“市民目線から見た医療の質確保”、この 2つの視点から診療局、看護局、医療技術局および事務局の 4 局がそれぞれ部局、所属の年度毎の目標と取組を ISO9001（国際標準化機構）の品質マネジメントシステム QMS と連動させる仕組みを構築・稼働しました。達成度、成果指標、内部認識評価、外部認識評価の 4 視点からの自己評価とともに外部有識者による経営評価委員会により点検・評価を行い、病院マネジメントのシステム化を推進しています。本年度は、視点①相手の立場で考えた行動と視点（患者の心を中心においた視点と行動）②あなたも経営者の一人（職員全員の経営参加）、この 2つの視点から ISO9001 の PDCA サイクルを回してまいります。

病院という組織も脱皮と自己変容が求められています。そのためには今こそ、『地に足をつける』必要があります。子供の頃から暗黙知として知っているこの言葉を実践知に変換しなければなりません。医療も病院も、その存在意義と向かう方向性を見失うことなく、『地に足をつけたイノベーション』が重要です。地に足をつけるには、常に挑む力を蓄えなければなりません。昨年 6 月には従来からの ISO9001 に加えて病院機能評価 Ver6.0 の認定を受け、本年 2 月には卒後臨床研修評価機構を受審し、県下初のトリプル受審により医療の質向上に努めています。医療の質は病院経営の根幹を成すものであり、職員の使命と誇りのもとに“エンドポイントのない終わりなき挑戦”として常にバージョンアップを目指してまいります。6 月には 2 台目の高精度 MRI (3.0T)、9 月には心臓リハビリテーション、2 月には脳ドックがスタートしました。11 月には全国封切りの映画「天のしずく」において、本院緩和ケア病棟と“いのちのスープ”が放映され、大きな反響を生んでいます。昨年開設した臨床研修センターも成長過程の中で、定期的な AED・BLS 研修において 650 名以上の職員が受講するという熱意と機運が盛り上がっています。本年 4 月には新たな組織改変として『患者総合支援センター』を創設しました。従来からの地域医療連携室、訪問看護ステーションに新設の患者相談支援室（1 階旧売店跡地）を統合して、患者・家族の相談および支援をシームレスに強化しようとする組織です。医療現場の診療を縦糸とすれ

ば、この組織が横糸としてより患者の心に寄り添ったサポートを主眼に大きく育ってくれることを希望します。

わが国は現在、世界のどの国も経験したことのない高齢社会を迎えています。2011年版『高齢社会白書』によると、65歳以上の高齢者人口は2,958万人で、総人口に占める高齢化率は23.1%に達しています。今後、人生65年時代から人生90年時代に向けた発想とシステムの転換が求められる中で、医療と介護の線引きが出来ない“不確実性”の中で、われわれの病院は日夜、急性期医療を遂行しています。超高齢社会の複雑性、多様性、不確実性の中で、医療の確実性を追い求める過度の期待という重圧に押しつぶれそうになりながら、日夜医療は止まることを知らない。今一度、日本人の「美徳遺伝子」を覚醒させなければなりません。“おかげさまで”、“ありがとう”。日本人が大切にしてきたこの言葉がもたらす笑顔と感謝、これこそが超高齢社会の医療と介護に光をもたらしてくれるものと信じています。次世代が世界に胸の張れる cool Japan 魂を成長させるのが楽しみです。

大津市民病院 next stage—『市民とともにある健康・医療拠点』として、『地に足をつけて』病院の在り方、医療のあるべき姿をふまえて、歩み続けたいものです。
皆様方の温かいご支援、ご高配を宜しくお願い申し上げます。

大津市民病院経営計画（平成24～30年度）-next stage

【目指す方向性とあるべき病院の姿】

市民とともにある健康・医療拠点

【7つの基本方針】

- ① 質の高い医療を効率的・安定的に24時間365日提供する病院
- ② 幅広く市民の健康をサポートする病院
- ③ 患者やその家族の気持ちを感じ取り行動していく病院
- ④ 地域の医療機関が患者のために協働したくなる病院
- ⑤ がんばりたい医療スタッフをひきつける病院
- ⑥ しっかりとした経営感覚を持った病院
- ⑦ 目標を設定し、持続的に進化する病院